

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-175186

(43)公開日 平成8年(1996)7月9日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 J	7/02	Z		
	7/00	C		

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平6-337872

(22)出願日 平成6年(1994)12月26日

(71)出願人 000241599

豊和繊維工業株式会社

愛知県春日井市味美白山町2丁目10-4

(72)発明者 山本 博

愛知県春日井市味美白山町2丁目10-4

豊和繊維工業株式会社内

(72)発明者 上村 政史

愛知県春日井市味美白山町2丁目10-4

豊和繊維工業株式会社内

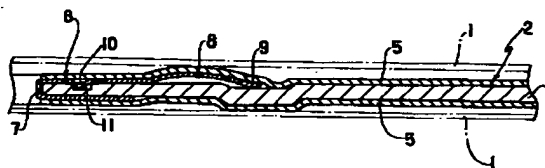
(74)代理人 弁理士 伊藤 毅

(54)【発明の名称】 自動車用摺動式サンシェード

(57)【要約】

【目的】 ガイドレールとの間に一定の摺動抵抗が得られると共に、金属どうしのこすれ音が生じることのない自動車用摺動式サンシェードを提供する。

【構成】 弾性金属板によりアーチ状の板バネ部8を一体に形成してなるスプリング部材6を形成し、サンシェード基板4の側縁部に前記スプリング部材6を固着し、前記板バネ部8を該サンシェード基板4とともに表皮材5により被い該板バネ部8の弾性により該表皮材5の一部を弾性的に突出させガイドレール1、1の内面に摺接させた。



BEST AVAILABLE COPY

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 弾性金属板によりアーチ状の板バネ部を一体に形成してなるスプリング部材を形成し、サンシェード基板の側縁部に前記スプリング部材を固着し、前記板バネ部を該サンシェード基板とともに表皮材により被い該板バネ部の弾性により該表皮材の一部を弾性的に突出させガイドレールの内面に摺接させてなることを特徴とした自動車用摺動式サンシェード。

【請求項2】 弾性金属板をコ字状に折曲することによりスプリング部材にサンシェード基板の側縁部に固着できる挟着部を形成した請求項1に記載の自動車用摺動式サンシェード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は自動車の天窓に日よけのためにスライド可能に設けられる自動車用摺動式サンシェードに関するものである。

【0002】

【従来の技術】摺動式サンシェードは周知のとおり自動車のサンルーフの開口縁両側に設けられた横断面コ字形の一对のガイドレールにサンシェードを摺動可能に支持してなるものである。ところで該サンシェードの両側縁には従来からガイドレール内面との摺動抵抗を一定ならしめるために金属製のスプリング部材が固着され、そのスプリング部材の弾性により摺動抵抗が適当に得られるようにコントロールしている。ところがスプリング部材が金属であることから、金属製のガイドレールと直接接触すると摺動時にこすれ音が出るため、その音の発生を防止するべく、従来からスプリング部材の接触部を合成樹脂で被覆したり、或いは別途に合成樹脂で成形された接触片を組付けするようにしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし上記のように樹脂被覆をしたり別体の成形品を組付けていると製作コストが高くなるという問題があった。また、サンシェードの両側縁に金属製のスプリング部材に代えて厚手のニット（又は弾性繊維）を巻付し、ガイドレール内面に該ニットを摺接させることにより摺動抵抗をコントロールすることも行なわれていた。又、樹脂の弾性発泡体又は樹脂成形バネを摺接させるなどの仕様は時間の経過と共に弾性が失われ易く、また熱によっても弾性が失われるため摺動抵抗値が大きく変化するという問題があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の自動車用摺動式サンシェードは上記課題を解決しようとするもので、弾性金属板によりアーチ状の板バネ部を一体に形成してなるスプリング部材を形成し、サンシェード基板の側縁部に前記スプリング部材を固着し、前記板バネ部を該サンシェード基板とともに表皮材により被い該板バネ部の弾性により該表皮材の一部を弾性的に突出させガイドレ

2

ールの内面に摺接させてなることを特徴とする。

【0005】また本発明は上記自動車用摺動式サンシェードにおいて、弾性金属板をコ字状に折曲することによりスプリング部材にサンシェード基板の側縁部に固着できる挟着部を形成したことを特徴とする。

【0006】

【作用】表皮材の一部がその内側からの板バネ部の弾性によりガイドレール内面に摺接するので、弾性の変化が少なく一定の摺動抵抗が得られ、しかも金属どうしが摺れ合うときに生じるようなこすれ音が生じない。

【0007】

【実施例】次に本発明の実施例を図面と共に説明する。図1に自動車のサンルーフの開口縁両側に固設される断面コ字形の金属製又は硬質樹脂製の一对のガイドレール1、1と、該ガイドレール1、1に摺動可能に支持されたサンシェード2を示す。なお、3は該サンシェード2の下面（車室内内）に設けられた把手部を示す。また、図2にこのサンシェード2の構成を分解斜視図にて示す。

【0008】サンシェード2は金属板、繊維強化合成樹脂板、繊維固結板、合成樹脂発泡成形板、強化段ボール板、ベニヤ板、或いはこれらを複合したサンドイッチパネルからなるサンシェード基板4の表面に、織物、レザー、不織布等からなる表皮材5を被着してなるものであるが、該表皮材5を被着するに先立ってスプリング部材6を該サンシェード基板4の側縁部に固着する。スプリング部材6は薄手の弾性金属板をプレス加工することによりコ字状に折曲して挟着部7を形成すると共に、該挟着部7と一体にアーチ状に外方に湾曲した板バネ部8を形成してなる。なお板バネ部8の先端部9は該板バネ部8とは反対向きに反り返っている。また挟着部7の片面中央にはコ字形の切込をプレス加工時に入れて内側に八字状に折曲する係合片10を一体に形成している。サンシェード基板4はサンルーフの開口を遮蔽し得る略々長方形に切断されたもので、その両側縁の隅角部寄りに前記係合片10に対応する係合孔11が形成されている。13は該係合孔11の近くに形成された浅い窪部である。また表皮材5はサンシェード基板4の下面および周縁部を被い得る大きさに予め裁断されたものである。

【0009】該スプリング部材6は、図3～図5に示したように、挟着部7をサンシェード基板4の側縁部に挟入し係合片10を係合孔11に係合させることにより挟着非容易なるように固着され、板バネ部8がサンシェード基板4の上面にアーチ状に円弧を描いて位置するように配置する。そのとき先端部9は前記窪部13中に位置する。そして表皮材5をサンシェード基板4の下面に接着剤で貼着し、さらに、該表皮材5の周縁部をサンシェード基板4上に折り返して接着剤で貼着することにより、板バネ部8を該表皮材5により被う。このため板バネ部8の弾性により該表皮材5の一部が弾性的に突出

3

し、該サンシェード2の両側縁をガイドレール1、1中に摺動させたとき該板バネ部8の弾性により表皮材5の一部がガイドレール1、1の内面に弾性的に摺接するようになる。このようにガイドレール1、1の内面に表皮材5が接触することで金属どうしが摺れ合うときのようなやなこすれ音が発生することなく、しかも板バネ部8の弾性により高温に対しても或いは長期間の使用に際しても安定した弾力が得られガイドレール1、1との摺動抵抗を一定ならしめることができる。

【0010】また図6に示したスプリング部材6は図2に示したスプリング部材6にさらに一体にアーチ状の板バネ部12を板バネ部8との直交面に形成されるようにしたもので、該板バネ部12は該スプリング部材6をサンシェード基板4に固着したとき該サンシェード基板4の側縁面に位置することとなるので、ガイドレール1、1の内底面にも表皮材5の一部を弾性的に接触させることができる。これによってサンシェード2の摺動抵抗を一層安定的ならしめることができる。

【0011】なお、上記図3、図6に示した実施例における挟着部7はサンシェード2を開閉操作するときの移動量を制限するストッパとしての機能をも兼ね備えている。

【0012】一方、図7に示した実施例は、スプリング部材6の他の形態を示したもので、同図に示したスプリング部材6はサンシェード基板4の側縁部に挟着し得るコ字形の挟着部7が板バネ部8、板バネ部12の両端に形成されており、このようなスプリング部材6はサンシェード基板4の両側縁の中間部に固着する形態として適する。

【0013】

【発明の効果】このように本発明の自動車用摺動式サン

4

シェードは、表皮材の一部をその内側からの板バネ部の弾性によりガイドレール内面に摺接させるようにしたので、板バネが直接ガイドレールと摺れ合うようなこすれ音が生じることなく、板ばね部の弾性により常に長期にわたり安定した摺動抵抗が得られ操作性を向上させる。しかも構成が簡単であるので、低コストで製作、組立てるなど有益な効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】自動車用摺動式サンシェードの斜視図。

【図2】本発明の一実施例を示す自動車用摺動式サンシェードの部分拡大斜視図。

【図3】本発明の一実施例を示す自動車用摺動式サンシェードの部分拡大斜視図。

【図4】図3のA-A線断面図。

【図5】図3のB-B線断面図。

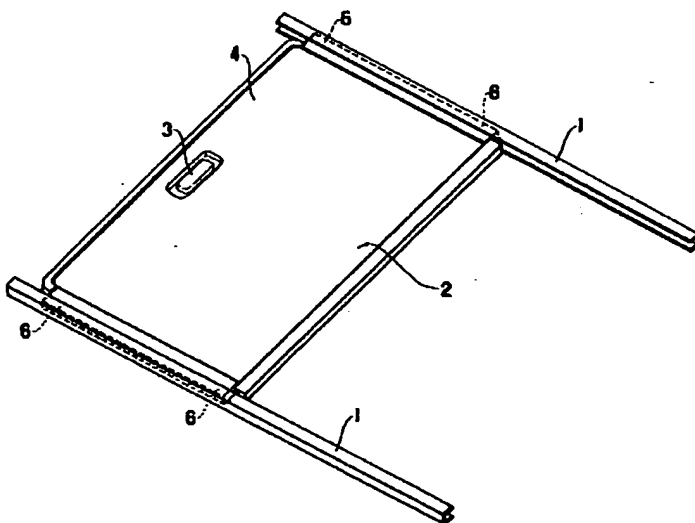
【図6】スプリング部材の他の実施例を示す斜視図。

【図7】自動車用摺動式サンシェードの他の実施例を示す部分拡大斜視図。

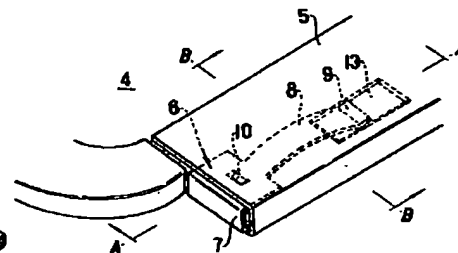
【符号の説明】

- | | |
|----|----------|
| 1 | ガイドレール |
| 2 | サンシェード |
| 3 | 把手部 |
| 4 | サンシェード基板 |
| 5 | 表皮材 |
| 6 | スプリング部材 |
| 7 | 挟着部 |
| 8 | 板バネ部 |
| 9 | 先端部 |
| 10 | 係合片 |
| 11 | 係合孔 |
| 12 | 板バネ部 |

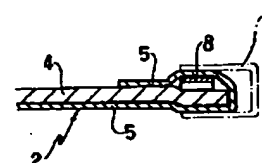
【図1】



【図3】

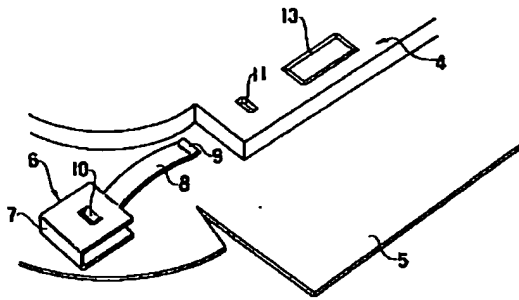


【図5】

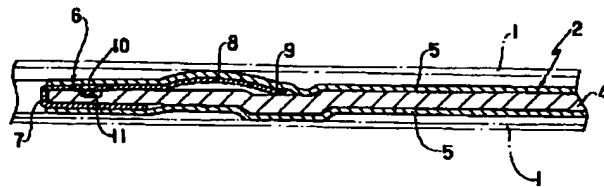


BEST AVAILABLE COPY

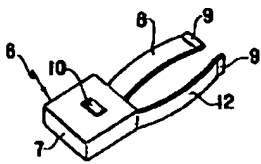
【図2】



【図4】



【図6】



【図7】

